

ほとめき

平成26年
第2号

「ほとめき」とは筑後の方言で「おもてなし」という意味です。
書：院長 田中 真紀



撮影：山田 孝典「波戸岬 秋の砂浜」佐賀県唐津市

当院の理念

地域住民の多様なニーズに応え、安全・安心で心の通う医療を提供する

方針

1. 利用者の尊厳を守り、地域での包括的な医療支援やサービスに努める
2. 地域に密着した公共性の高い医療を目指す
 - ① 地域医療機関との連携を強化する
 - ② 地域に特色のある医療を担う
3. 質の高い医療を提供するために資質の向上に努める



ジェイコー

JCHO 久留米総合病院

独立行政法人地域医療機能推進機構

新しい船出から半年

本年3月31日に全国の社会保険病院が消滅し、4月1日付でJCHO病院がスタート、職員はJCHO病院の職員として採用されました。そして、その後半年が経過しました。病院の診療機能はそのままですが、「組織が変わる」とは全ての手続きがスタートラインに着くことであり、もちろん規則や給与体系など職員自身に関わる事項も変わりました。JCHOへの移行も難産でしたが、移行後も「変わる」ことが如何に大変であるかを痛感しています。

職員一同が心をひとつにして難局を乗り越え、心機一転、新しい目標に向かって勇往邁進しているところです。

そのような中、ようやく次の二つの会を催すことができましたので、ご紹介いたします。



院長
田中 眞紀

第1回病診連携意見交換会

8月28日(木)、第1回病診連携意見交換会を翠香園ホテルで開催しました。久留米市を中心とした筑後地域の病院や診療所との連携を目的とした意見交換会で、約100名のご参加をいただきました。

第1部では、特別講演として元RKBアナウンサーで現在、大野城まどかぴあ館長の林田スマ様から『医療現場における“ことばとところ”～コミュニケーションの重要性を考える～』をテーマにご講演いただきました。口から出た言葉は取り消すことができない上に、言葉一つで相手のモチベーションを高めることも、逆に萎えさせることもある。医療者としては、患者さんに元気を与える言葉を発してほしいと話されました。また医療者と患者間だけでなく、同じ職場で働く者同士でも気遣いが必要と、軽快な口調の中に心温まる講演でした。

第2部では、北里久留米医師会長のご挨拶で意見交換会が始まり、続いて総合診療科医長の平井良先生が作成した医師紹介DVD(NHK大河ドラマ「独眼竜政宗」・「軍師官兵衛」の映像と音楽にのって紹介)は、会場の笑いを誘い、終始和やかな会になりました。お忙しいにも関わらず、ご参加いただきました方々には心から感謝申し上げます。



林田スマ様ご講演



来賓挨拶
久留米医師会長
北里誠也様



主催者挨拶
院長
田中眞紀



開会挨拶
副院長
松隈則人



閉会挨拶
副院長
杉山和英

第1回地域連絡協議会

8月21日（木）、第1回地域連絡協議会を院内の会議室で開催しました。この会議は、独立行政法人地域医療機能推進機構法第20条「機構は、施設の運営に当たり協議会の開催等により広く当該施設の利用者その他の関係者の意見を聞いて参考とし、当該地域の実情に応じた運営に努めなければならない。」によって、設置することが義務付けられています。

構成員は自院（院長ほか）、行政（県、市などの医療担当部署）、医師会、利用者、関係する医療機関、学識経験者となっており、この度、委員として久留米医師会長、久留米大学病院院長、久留米市保健所長、久留米市健康福祉部長、久留米消防署長、弁護士、櫛原町自治会長、患者代表（2人）の皆様方に委員としてご就任いただきました。

新しい組織であるJCHOの使命などを説明後、多数のご意見を頂戴しました。より一層、顔の見える関係を構築し、地域から信頼される公的病院を目指したいと責任の重さを感じています。



皮膚・排泄ケア認定看護師誕生

皮膚・排泄ケア認定看護師を取得することができました。皮膚・排泄ケアでは、スキンケアを基本とし創傷管理（褥瘡や外傷・手術創・下肢潰瘍）、ストーマケア（人工肛門・人工膀胱・瘻孔）、失禁ケア、化学療法による皮膚障害のケアなどを行います。スキントラブルは、痛みや掻痒感などの苦痛を与えてしまうため、少しでも苦痛が緩和できるように、患者様への直接的なケアや予防だけでなく、患者様とご家族の問題解決に向けてお手伝いさせていただいています。また、看護部全体の質向上のため、スタッフからの相談にのり、指導も行っています。

今後は、患者様を取り巻くすべての人々と連携を取りながら、看護や介護に従事されている地域の方々にも対応し、チーム医療を活性化できるよう活動していきたいと考えています。



皮膚・排泄ケア認定看護師
野口 ひろみ

認定看護師7名に

- ▶ 認定看護管理者 入部直子
- ▶ がん化学療法看護認定看護師 時里玉栄
- ▶ 認知症看護認定看護師 祁答院美和子
- ▶ 乳がん看護認定看護師 坂口まさみ
- ▶ がん性疼痛看護認定看護師 大川内直美
- ▶ 緩和ケア認定看護師 亀島美保
- ▶ 皮膚・排泄ケア認定看護師 野口ひろみ

消化器がんの最近の治療

～特に胃がん、大腸がんについて～

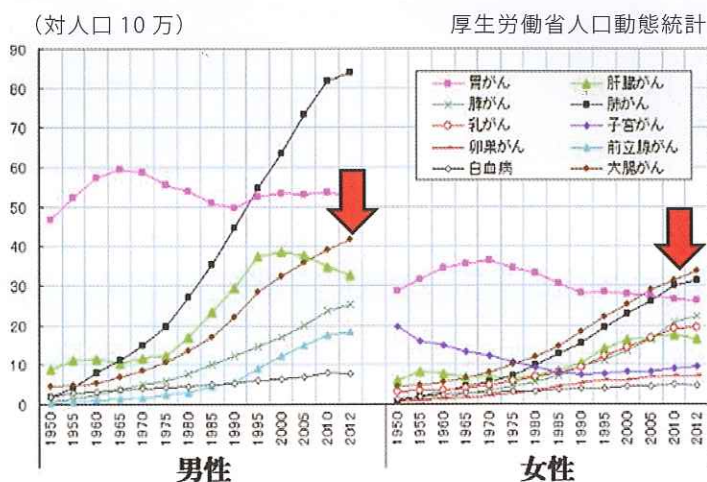
日本における消化器がんの死亡率は、がんあるいは肉腫といった悪性新生物で死亡する割合が圧倒的に高率となりました。幸か不幸かこの世に生を受け、がんで人生の最後を迎えるといっても過言ではありません。その時には、誰しも安らかに天寿を全うできればと思うでしょう。がんを患って苦しい思いをしながら、死を迎えることは辛いことに違いはありません。それ故に、がんの治療を施し、治療を行うことが医師の使命であると思ひ、日頃の診療に励んでいます。がんの中でも注目すべきことは、図1に示すように胃がんは減少傾向にあり、大腸がんが著しく増加していることです。



外科主任部長
白水 和雄

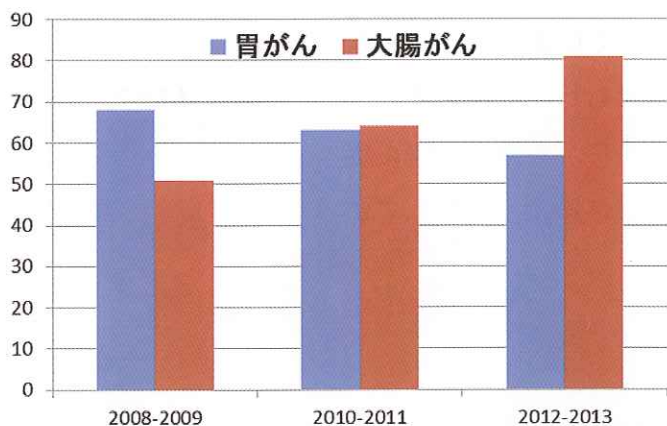
食生活の欧米化が誘因の一つと考えられていますが、詳細は別の機会に譲るとして、当院における最近の胃がん、大腸がん治療について紹介します。

図1 主な部位別がん死亡率（人口10万人対）



男性、女性とも胃がんは減少、大腸がんが増加している。特に女性は大腸がんは死因の第1位である。男性は3位。

図2 当院における胃がん、大腸がんの推移



胃がんは減少し、大腸がんは増加傾向

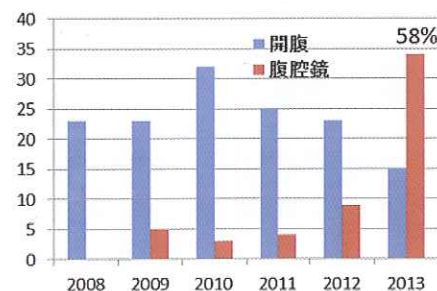
当院における胃がん、大腸がんは、毎年それぞれ60例前後の治療経験がありますが、その推移をみると、図2に示すように本邦の統計と同様に、胃がんが減少し大腸がんが増加の傾向にあります。手術方法（術式）も大きく変わり、従来はお腹を大きく切って手術を行う開腹術が全てでしたが、医療機器の進歩と外科の技術革新によってお腹を大きく切らなくても小さな創で手術を行う腹腔鏡（内視鏡）手術が主流になっています。

図3 当院における胃がん、大腸がんの腹腔鏡手術



胃がん、大腸がんとも腹腔鏡手術が増加している。

大腸がん



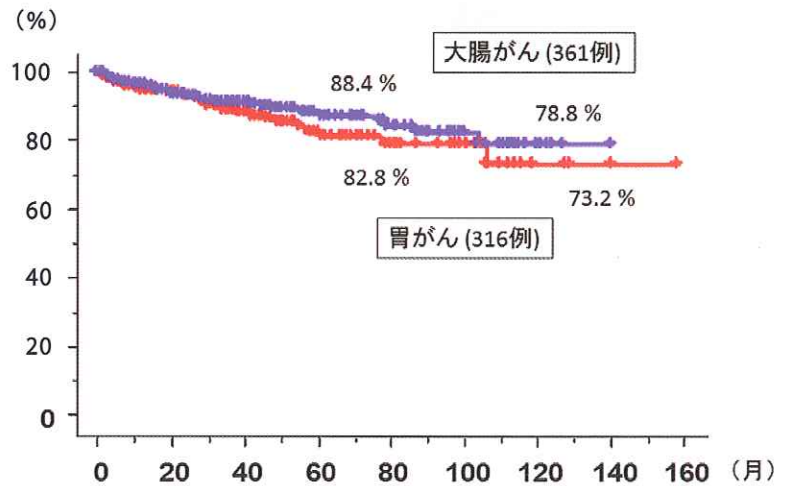
当院では、図3に示すように胃がん、大腸がんの約半数以上が腹腔鏡手術で治療が行われています。図4は、大腸がんの腹腔鏡手術の風景です。外科医、看護師、麻酔医のチームワークを築き、モニターで情報を共有しながら粛々と手術を行っています。手術の前週には外科、内科、放射線科、麻酔科、薬剤科と術前カンファランスを密に行い、診断、術式、麻酔法、さらに手術前後の化学療法の必要性などを詳細に検討し、個々の患者さんに適合した治療、すなわちテーラーメイドの治療が完璧にできるように心がけています。図5は2003年から2013年までの胃がん、大腸がんの全症例の生存率を示しています。

胃がんの5年・10年生存率はそれぞれ82.8%、73.2%、大腸がんは88.4%、78.8%であり、良好な治療成績が得られています。

図4 大腸がん腹腔鏡手術風景



図5 胃がん、大腸がんの5年・10年生存率



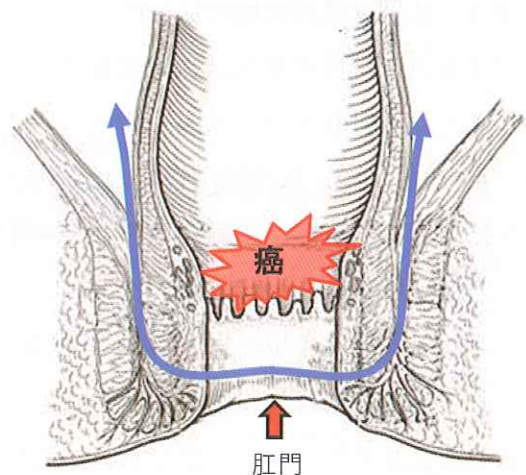
また、最近では直腸がんに対する究極の肛門温存術を施行しています(図6)。この手術は、肛門に近い直腸がんに対し、人工肛門を造設せずに肛門を温存できる術式です。詳細は、ホームページで解説しています。

<http://www2.ktarn.or.jp/~drkshirouzu/>

がんの治療で最も大切なことは、がんを早期に発見し、早期に治療することです。これによってがんの完璧な治癒も可能となります。当院の健康管理センターにおいて検診も実施しています。

早期発見のために、40歳を過ぎたら健康チェックを忘れずに心がけておくことが天寿を全うできる近道であると考えます。

図6 究極の肛門温存術
(内括約筋切除肛門温存術)



内(肛門)括約筋を切除して肛門を温存する

歴史の上に

櫛原侍屋敷遺跡 (Kushihara Samurai-site -Report of 17th Survey-)

この度、病院診療棟新築工事に伴い実施された発掘調査の報告書が発行されましたので、報告いたします。

2012年秋に行われた発掘作業の風景



○櫛原侍屋敷遺跡 - 第17次発掘調査報告 -

【報告書】久留米市文化財調査報告書 第336集

【発行日】平成25年9月30日

【発行】久留米市教育委員会

【編集】久留米市 市民文化部 文化財保護課

○報告内容 (報告書抄録より)

【遺跡名】櫛原侍屋敷遺跡 第17次発掘調査

【場所】久留米市櫛原町

【発掘期間】平成24年9月7日～平成24年10月26日

要約

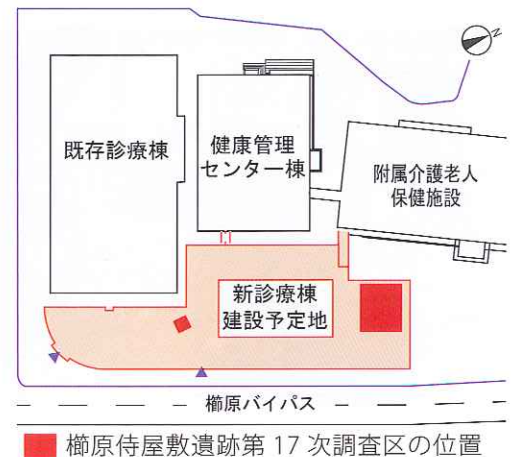
本調査区は、筑後川左岸の洪積台地上に位置し、調査区は南北に設けたが、現在の境界とほぼ同一の場所から17世紀に堀削された溝を検出した。位置と年代から、屋敷境の境界溝であった可能性がある。また、近代の整地層の下から18世紀から幕末にかけての池状遺構が見つかった。

このほか、古代の遺構を検出したが久留米城下で初めての緑釉陶器が出土した。東側約950mには、9世紀代の官衛的集落と推定されている南薫西集落があるが、その関連が推定される。

調査地は、久留米医師会館の跡地の一部を発掘調査したものです。報告書によると、櫛原の地名は筑後国御井郡八郷にあった「櫛原郷」に由来すると推測されています。

元和7年(1621年)に丹波国福知山から久留米城に入城した有馬豊氏が城郭の改修を行う際に城下町と侍屋敷を整備していますが、調査地もその侍屋敷の一部です。

今回、久留米城下で初めて出土されたという緑釉陶器は後世の遺構に混入したものと判断されています。緑釉陶器とは日本独自の焼き物で、8世紀後期から12世紀中期頃に作られた最も高度な技術を要する高級陶器で、おもに皇室や貴族に愛用されていたようです。数世紀後にまわりまわって、そのような焼き物を手に入れることができる武士が住んでいたのだと思いを馳せることができます。



出土緑釉陶器



写真：久留米市埋蔵文化財センター提供

久留米市民健診のご案内

久留米市民健診の受診期間は、6月1日から11月30日までです。当健康管理センターでは、月曜日から金曜日まで実施しており、ご予約は必要ありません。

久留米市の健康手帳番号と保険証をご持参のうえ、お越しく下さい。例年、10月から11月にかけて受診される方が多く、お待ちいただく時間が発生してしまいますので、お早目の受診をお勧めします。

久留米市民健診の種類 / 対象者

自己負担金

- 1 生活習慣病予防健康診査 / 35歳 ~ 39歳 500円
- 2 特定健康診査 / 40歳 ~ 74歳 500円
※「受診券」が必要です。
- 3 後期高齢者健康診査 / 75歳以上 500円
※「受診券」が必要です。

【がん検診】

- 4 肺がん検診 / 40歳以上 500円
- 5 大腸がん検診 / 40歳以上 700円
- 6 前立腺がん検診 / 50歳以上の男性 400円
- 7 子宮頸がん検診 / 20歳以上の女性 900円
- 8 乳がん検診 / 40歳以上 偶数年齢の女性 40歳代：1,100円
50歳代：1,400円
- 9 骨粗しょう症検診 / 25歳 ~ 75歳 5歳毎 500円
の節目の年齢の方

※クーポン券、生活保護や市民非課税証明書をお持ちの方は、無料になります。



受付時間

- 1 ~ 3 : 8時30分 ~ 9時 ※血液検査がありますので、絶食でお越しく下さい。
- 4 ~ 9 : 8時30分 ~ 9時30分

J.M.S ジャパン・マンモグラフィ・センター

予約制
先着 50名様まで

2014年10月19日

日曜日

当院では、今年も10月の第3日曜日に子育て・介護・仕事などで多忙な平日をお過ごしの方を対象に乳がん検診・子宮頸がん検診を予約制で実施します。ぜひご利用ください。

乳がん検診

- ▶▶ ①久留米市民健診の乳がん検診受診対象の方
 - 視触診 + マンモグラフィ検査 (1方向) 1,100円
 - 視触診 + マンモグラフィ検査 (2方向) 1,400円
- ▶▶ ②福岡県内広域圏無料クーポンをお持ちの方 無料
- ▶▶ ③実費で受診される方 (①・②の対象以外の方)
 - 視触診 + マンモグラフィ検査 4,750円
 - 視触診 + マンモグラフィ検査 + 乳房エコー検査 8,640円

子宮頸がん検診

- ▶▶ ①久留米市民健診の子宮頸がん検診受診対象の方 900円
- ▶▶ ②福岡県内広域圏無料クーポンをお持ちの方 無料
- ▶▶ ③実費で受診される方 (①・②の対象以外の方) 3,350円

TEL : 0942-32-9781 FAX : 0942-33-1218

※平日 (月~金) 13:00 ~ 17:00 の間にご連絡ください。

※当院ホームページから申込用紙をダウンロードして必要事項をご記入のうえ送信をお願いいたします。

<http://kurume.jcho.go.jp/>

本年4月より新診療棟建設工事を開始したことから、駐車場の利用台数が減っております。受診者の皆様には、駐車までにお待ち頂く場合もあり、ご迷惑をおかけしておりますが、ご了承のほどよろしくお願い申し上げます。

健康管理センター課長 牟田 庸夫

納涼大会を開催

8月23日 土曜日、JCHO 久留米老健2階リハビリテーションセンターにおいて、開設以来毎年行っている当施設の夏の一大イベント「第19回 納涼大会」が開催されました。

当日は、3階および4階の入所の方々とそのご家族、通所リハビリテーション利用の方々を含め200名ほど参加していただきました。皆様、ハッピーにうちわ姿で盛大なお祭りとなりました。

ステージの催しは、福岡県立久留米筑水高等学校和太鼓部の演奏、日向ひよっとこ踊りときめき隊の皆さんによる踊り、併設の託児所（ニチイ学館 キッズルーム SUN SUN）の園児たちの歌、バナナの叩き売り、スタッフの踊りなど、とても賑やかな1日となりました。

模擬店では、焼きそば・からあげ・フライドポテト・おにぎり等の販売、キャラクター釣り、ゲームも大盛況、売り切れ御免で終了しました。

準備に追われていたスタッフも、ご利用者やご家族の皆様の笑顔を見て疲れが一気に吹き飛んでいきました。

皆様のご協力のおかげで、「JCHO 久留米老健」になって初めての納涼大会を無事に開催することができました。この笑顔を忘れず、より一層のサービスを目指し、これからもスタッフ一同、力を合わせて頑張りたいと思います。



老健リハビリテーション部紹介

私たち老健リハビリテーション部では、理学療法士3名、作業療法士3名、あんまマッサージ師1名で業務を行っています。(1名は現在、育児休業中です。)

主な業務内容は、当施設に入所されている方や通所リハビリテーションのご利用者に対しての機能訓練の提供です。

最近、医療機関での入院期間が短縮されていることから、発症後間もない方や比較的若い方のご利用も増えています。以前のような維持期のリハビリテーションだけでなく、医療機関に準じた積極的な機能訓練を求められることもあり、リハビリテーションの在り方も多様化してきているといえます。

当施設のリハビリテーション部の使命は、障害を持っていようとも活動に積極的に参加してもらうこと、またご利用者の家庭環境の調整を行うこと等です。それらを通じて、生活機能の向上に取り組み、住み慣れた土地でできるだけ長く生活していただけるよう支援していくことを目指しています。そのため、施設内での機能訓練にとどまらず積極的にご自宅への訪問を行い、生活環境を把握しご利用者に合ったサービスを提供できるよう心がけています。

入所生活を送ることは、再度社会とつながった生活を経験することにもなります。失いかけた自分を取り戻し、また住み慣れた家へ復帰する足がかりにもなると考えています。そのため、私たちは他のスタッフとも連携を図り、場合によっては他事業所の方々と一緒にご利用者の支援を行っています。

当施設での生活が、ご利用者にとって楽しく自分らしい貴重な時間になるようリハビリテーションを通して支援していきたいと考えています。

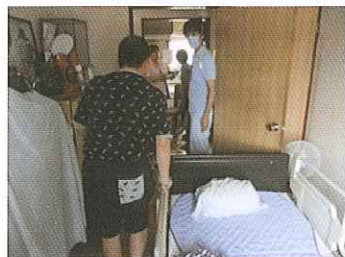


作業療法士
永田 博明

利用者宅への訪問の様子



ケアマネージャー、デイケアスタッフと合同でご利用者の生活環境を確認します。



生活動作のひとつひとつを確認し、問題点はないか改善点は何かなどを一緒に考えます。

新入職者紹介

< 医師 >

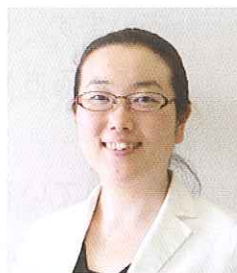
平成 26 年 4 月 ~6 月入職



外科医員
岐部 史郎

日本外科学会専門医

患者さんの状態に応じた最適な治療を提供できるよう努めてまいります。よろしくお願ひ致します。



乳腺外科 (非常勤)
森田 道

日本外科学会専門医
検診マンモグラフィ読影認定医

精一杯がんばります。

< コメディカル >



診療放射線技師 (放射線科診療部)
今村 仁美

少しでも皆さまのお役に立てるよう元気にがんばります。よろしくお願ひします。



臨床工学士 (臨床工学センター)
高橋 明成

臨床工学士の立場からチーム医療における自らの役割を認識すると共に、医療安全に対しても寄与していきたいと考えています。



臨床検査技師 (臨床検査科)
成清 桂子

超音波検査を担当しています。今までの経験を活かし久留米総合病院でも頑張りたいと思います。



看護師 (2階病棟)
塩山 美穂

看護師の仕事につき13年。高齢者の看護に携わることが多くありましたが、今までの経験を活かし、久留米総合病院で患者様に信頼して頂ける看護師をめざし、努力していきたいと思っています。よろしくお願ひします。



看護師 (2階病棟)
田中 愛子

子供の頃からの夢であった看護師として就職できたことへの期待の半面、新人看護師としての不安もありましたが、病棟の先輩看護師の方々にご指導頂き支えられながら日々成長出来ていると感じています。日々学習し、看護技術も磨いて立派な一人前の看護師になれるよう努力していきたいです。



看護師 (3階病棟)
石橋 さくら

毎日、患者様と関わらせて頂く中で、疑問に思ったことはそのままにせず、その日にうちに解決し、自分のものにしていきたいです。いつも笑顔で患者様に接することができるように、頑張ります。



看護師 (3 階病棟)
山本 いずみ

先輩看護師を見習い、日々勉強していききたいです。また、笑顔を忘れず、さらに患者さんの笑顔をつくれる看護師となれるように努力していききたいです。



看護師 (3 階病棟)
田中 さよ子

笑顔で挨拶を励行し、患者様の声にしっかり耳を傾けることができる看護師になりたいです。日々努力を惜しまず、知識技術の向上に努めます。



看護師 (3 階病棟)
橋本 多実子

新しい環境や部署で慣れないことがたくさんあると思いますが、頑張っていこうと思います。



看護師 (4 階病棟)
家中 公美

患者さま、ご家族の方々に安心して治療を受けていただけるよう笑顔を決やさず、頑張ります！



看護師 (4 階病棟)
豊福 裕之

患者様と笑顔でコミュニケーションを図り、信頼関係が築けるように努めます。また看護技術の習得に努めます。



看護師 (4 階病棟)
江田 明浩

元気いっぱい頑張ります！！



看護師 (4 階病棟)
中村 由美

患者さまや病院スタッフとのよい人間関係を築きながら、日々の業務を遂行できるよう頑張ります。



看護師 (4 階病棟)
成清 亜理沙

今年4月に入職した成清です。私生活では、一児のママで子育て頑張っています。仕事も頑張っていきたいと思っていますので、よろしくお願いします。



新診療棟建設 環境への取り組み

施行業者である前田建設工業株式会社が建設現場で行っている環境への取り組みをご紹介します。

平成 26 年 4 月より当院では、新診療棟の建設工事を着工いたしました。現在、平成 27 年 9 月の竣工を目指し工事が行われています。建設現場では、エコキャップ運動の実施など様々な環境への取り組みが積極的に行われています。



工事看板



建設現場のコーナーに飾られた植木鉢の花



エコキャップ運動実施中。800 個の売却益で 1 人の子供のポリオワクチンが購入できます。



9月10日現在 約 1,600 個のキャップが集まっています。



Trick or Treat!



表紙の写真

空高く晴れ渡ったある休日、佐賀県唐津市の呼子に行ってきた。呼子名物のイカを存分に味わった後、波戸岬まで足を伸ばしました。普段は、有明海の干潟を見ることの多い私にとって、ここの風景は実に印象的でした。思わずシャッターを切った中の一枚です。

(広報委員 山田 孝典)



糸島サンセットロードから見た夕陽

編集後記

『ほとめき』ってどんな意味？

久留米に生まれ育って、うん十年。知らない言葉でした。さっそく実家の母に尋ねてみると、それは「おもてなし」という意味とのこと。例えば、「今日は〇〇さん宅でばさらか良かほとめきばしてもろてほんに良かったたい。」という風に使うらしい・・・。

通訳すると「今日は〇〇さん宅でとても良いおもてなしをしてもらって本当に良かったよ。」となります。筑後地方の方言のようですが、『ほとめき』と言葉を口に出しても、優しい音の響きに聞こえます。地域の方言の中にも良い言葉があるのだと、新しい発見でした。

(広報委員 三好 悦子)



ジェイコー

JCHO 久留米総合病院

独立行政法人地域医療機能推進機構

Japan Community Health care Organization: JCHO

〒830-0013 福岡県久留米市櫛原町 21 番地

TEL : 0942-33-1211 FAX : 0942-32-0113 URL : <http://kurume.jcho.go.jp/>

2014 年 9 月発行 発行責任者：院長 田中 真紀 編集：広報委員会